



大雨に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和7年9月10日(水) 午前10時～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

**【参加者】知事^(※)、副知事^(※)、政策統轄監^(※)、危機管理部、
農林水産部、県土整備部、鳥取地方気象台^(※)（※）…リモート参加**

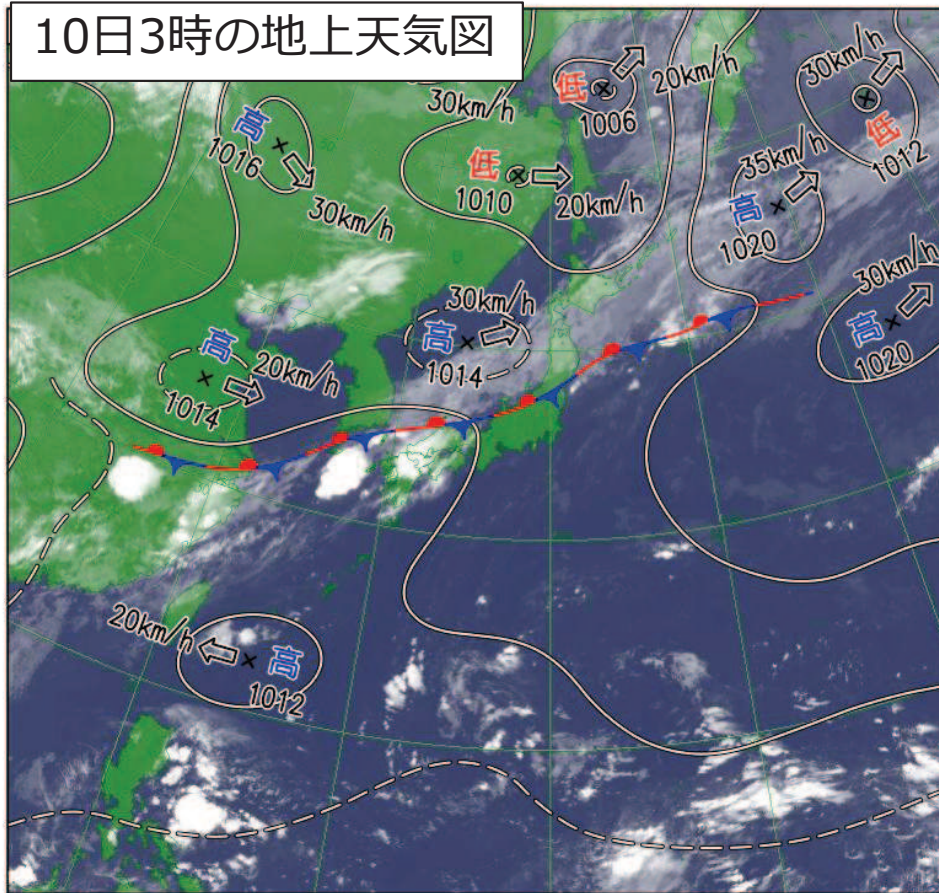
（配信）総合事務所、市町村、県警、消防局、自衛隊（米子駐屯地）、
鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所、鳥取運輸支局、
中国電力（株）・中国電力ネットワーク（株）、NTT西日本（株）、
NEXCO西日本（株）、JR西日本（株）

【次 第】

- （１）最新の気象状況及び今後の予測等
- （２）市町村・県民への注意喚起
- （３）警戒・即応体制の確保等

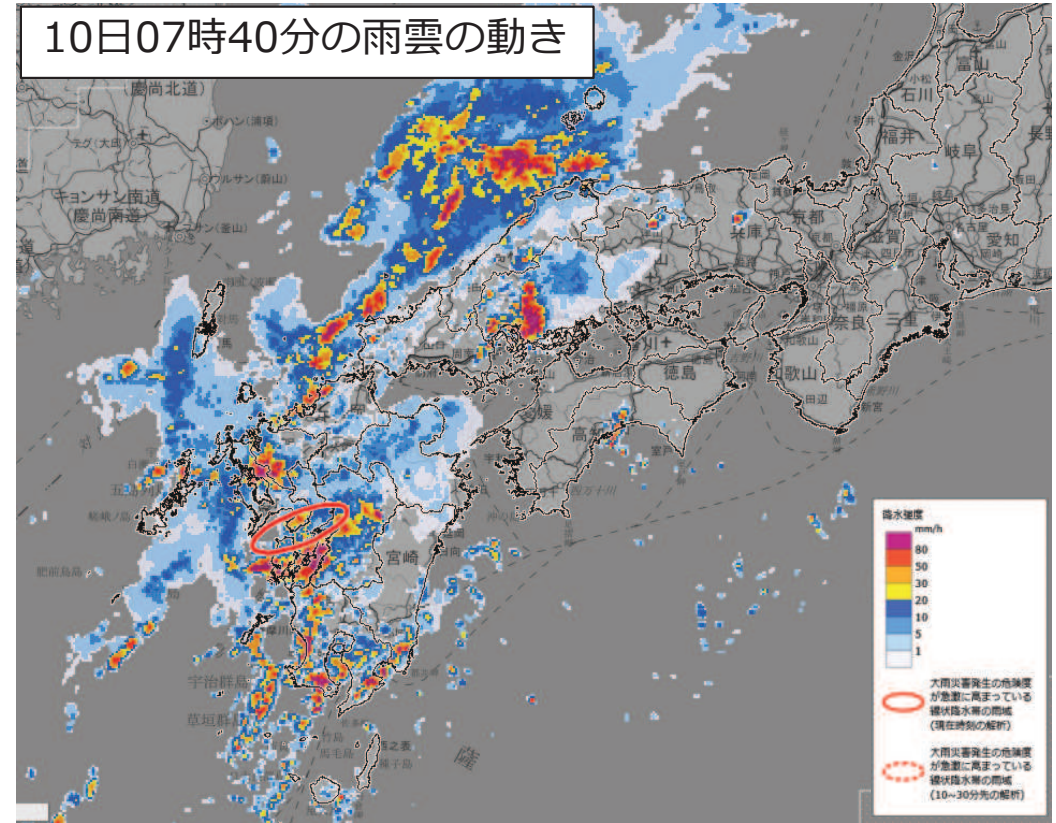
概況

10日3時の地上天気図

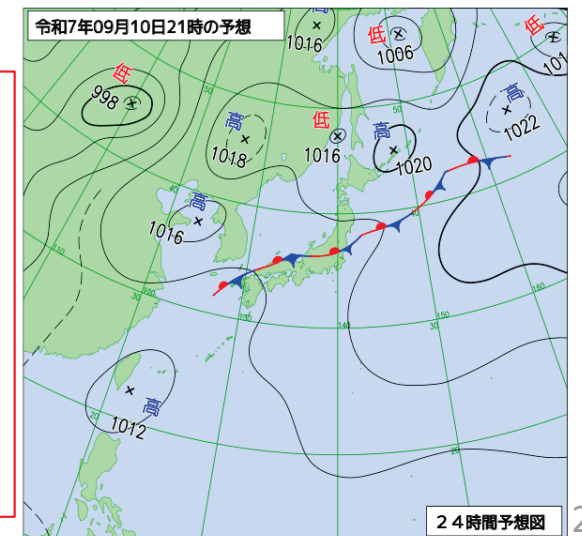


・前線が中国地方に停滞しています。前線は中国地方にほとんど停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込む見込みです。

10日07時40分の雨雲の動き



・鳥取県では、線状降水帯発生の可能性を伝える府県情報（10日02時15分）を、**10日昼前から夕方**を対象に発表しています。



9月10日08時 現在

			10日						11日							
			6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
早期注意情報 大雨			[中]	[中]	[中]	[中]	[中]									
大雨(浸水) (ミリ)	東部		30	50	50	50	20	15	5	5	5	5	20	20	20	0
	中・西部		30	50	50	50	20	15	5	5	0	5	20	20	20	0
大雨(土砂)	東部															
	中・西部															
風 (メートル)	東部	陸上	8↗	10↓	10↓	8↗	5↗	5↗	5↖	6↖	6↗	8↗	8↗	8↗	6↖	5↖
		海上	13↗	13↗	13↗	13↗	10↗	8↗	8↗	9↗	9↗	10↗	10↗	10↗	8↗	7↖
	中・西部	陸上	8↗	10↓	10↓	8↗	6↗	5↗	5↑	6↑	6↗	8↗	8↗	8↗	6↓	5↑
		海上	13↗	13↗	13↗	13↗	10↗	8↗	8↗	9↗	9↗	10↗	10↗	10↗	8↗	7↖
波浪 (メートル)	鳥取県		2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
雷	鳥取県		注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注
高潮 (メートル)	東部		0.5	0.5	0.6	0.7	0.6	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4
	中・西部		0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4

警報級
注意報級

24時間降水量 (多い所)

10日06時～11日06時

東部 100ミリ

中・西部 100ミリ

・ 10日昼前から夕方にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。

- 前線が中国地方に停滞しています。前線は中国地方にほとんど停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込む見込みです。
- 10日昼前から夕方にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。
- 大気の状態が非常に不安定となっており、急激な状況の変化に留意してください

<防災事項>

- 浸水害、河川の増水、土砂災害に十分注意
- 竜巻などの激しい突風、落雷に注意

- 前線の活動が活発化しており、線状降水帯が発生するおそれがあります。
⇒最新の気象情報を確認し、天気の急変や極端な短時間強雨にご注意ください。
- 線状降水帯の発生がなくても、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。
⇒突風、落雷、大雨、交通機関の運行状況などにご注意ください。

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 防災タイムラインを活用し、早めの災害対応

1 住民への注意喚起

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、改めて住民に周知してください。

- ・早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- ・**「警戒レベル3」**で、**高齢者等避難に時間を要する者が避難開始**すること
- ・**「警戒レベル4」**で、**全員危険な場所から避難**すること
- ・**「警戒レベル5」**で、**高台への移動、近傍の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保**すること
- ・防災・気象情報をこまめにチェックすること など

2 避難情報等の発信と周知

住民の身体・生命の安全確保のため、確実に避難行動が行われるよう、**的確な避難情報の発信と周知**をお願いします。

- ・ 夜間・危険な状況での避難とならないよう、早めの避難情報発出を検討して下さい。
※状況急変時は、夜間でも避難情報の発出が必要
- ・ 避難情報発出にあたっては、気象・河川水位等の情報を収集し、必要に応じて県関係課に助言を求めてください。
- ・ 確実に住民へ避難情報が伝達されるよう、防災行政無線他様々な手段による伝達をお願いします。
- ・ 通勤・通学時に大雨が予想される場合等は、無理な外出を控える等の呼びかけを検討ください。
- ・ 小中学校の臨時休業の基準や連絡体制等を改めて確認してください。

(1)市町村への依頼事項(その2)

3 事前の準備

災害の未然防止、災害発生時の確実な対策実施のため、事前の準備をお願いします。

浸水リスクが 高い地域の 対策の準備

過去に浸水被害があった地域、孤立可能性集落など、対策の再確認

- ・ 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・ 河川に接続する農業用取水、排水樋門や操作が必要な取水堰の点検と適切な操作体制の確認
- ・ 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・ 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

初動体制の 確立

夜間や時間外を踏まえた、参集・対応体制の確認

- ・ 職員参集体制の確認（時間外参集、呼び出し基準、参集人員）
- ・ 気象情報の収集伝達方法・体制の確認
- ・ 常時オンライン情報共有の接続準備（機材、URLなど）

避難体制の 確立

住民の避難が確実にできるよう、体制の確認

- ・ 避難情報の発令基準の確認
- ・ 消防団等への連絡手段の確認
- ・ 避難所の開設準備、開設手順、開設の連絡方法 等

避難行動要 支援者等の 支援

高齢者、障がい者等の避難行動要支援者や、要配慮者利用施設など、避難が困難な方の支援について準備

- ・ 個別避難計画作成者等への情報伝達手段、避難支援体制等の確認
- ・ 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導支援等の確認

(1)市町村への依頼事項(その3)

4 被害規模の早期把握に向けた被害状況の迅速な報告

迅速な救助や関係機関の速やかな応援のため、避難所（支え愛避難所含む）の開設状況、孤立集落、被害情報等の迅速な報告をお願いします。（定時報告に限らず、緊急時には随時報告をお願いします。）

5 避難所の開設及び環境整備等

避難所の早めの開設と、避難行動が促進されるよう避難所環境の確保をお願いします。

避難所環境 の確保

避難行動促進のため、避難者ができるだけ快適に過ごせる環境の整備

- ・ 避難所における**熱中症予防対策**の実施（大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけなど）
- ・ ベッド、テント、パーティションなどによるプライバシー環境の確保
- ・ 福祉避難所の開設 等

避難所の感 染症対策

人が多く集まる避難所では基本的な感染症対策を取ってください

- ① 可能な限り多くの避難所を開設
- ② 避難者の健康状態の確認
- ③ マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底
- ④ 避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報等に注意

最新の気象情報や防災情報（土砂災害、河川の状況等）を確認して早めの避難をお願いします。

気象情報

- ▶ **気象庁ホームページ** <https://www.jma.go.jp/>
キキクル(危険度分布)/台風情報 / 警報・注意報 など



▲キキクル（土砂災害・浸水害・洪水害の危険度）

避難情報・避難所開設

- ・ 各市町村ホームページ
- ・ 防災行政無線
- ・ エリアメール など

河川の状況 等

- ▶ **鳥取県防災情報ポータル**

<https://tori-bousai.jp/>



河川のカメラ画像や水位情報等を確認可能



県の発信ツール

鳥取県の防災情報お届けツールは
こちらのQRコードから



<https://www.pref.tottori.lg.jp/210753.htm>

避難情報・避難所開設状況/交通情報/
道路情報/ライフライン情報 など

- ▶ **ホームページ「とりネット」**
<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

注意情報などのまとめページを設置（トップ
ページの「防災・救急」又は特設リンクから）

- ▶ **「あんしんトリピーメール」**

スマホ、携帯電話等に気象情報・防災情報
等をメールで配信

- ▶ **防災アプリ「あんしんトリピーなび」**

「あんしんトリピーメール」のプッシュ通知や最寄りの避難所
情報など
9言語に対応



▲特設リンク



そのほか

- ▶ **テレビのデータ放送**
リモコンの「dボタン」から



- ▶ **各種スマートフォンアプリ**

Yahoo!防災速報 など



(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 災害リスクの確認、防災対策

ハザードマップで家の周囲の災害リスクや避難場所を確認するほか、あらかじめ大雨や強風に備えてください。

ハザードマップの確認など

ハザードマップ等で、自宅周辺の災害周辺地域等の危険性などを把握してください

- ・ 周辺の危険度（浸水深、土砂災害警戒区域）
- ・ 避難場所までのルート

ハザードマップポータルサイト

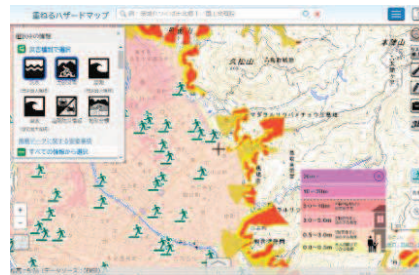
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



鳥取県ホームページ

<https://www.pref.tottori.lg.jp/323310.htm>

- ・ 土砂災害警戒区域等の新規調査候補箇所となる「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を確認。
(令和7年5月27日公表)



災害時の行動確認

- ・ 家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。
⇒避難場所をあらかじめ決めておく、避難ルートを確認、避難に備えてマイ・タイムラインを作成など。

災害前の備え

気象が悪化する前に、準備をお願いします。

大雨への備え

- ・ 大雨や台風接近のニュースや気象情報などを入手したら、早く帰宅し、家族と連絡を取り合う。
- ・ 大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝の掃除。

強風への備え

強風への備えをしておく

- ・ 家の周囲の倒れやすいものは、固定か家の中に入れる。
- ・ 窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- ・ 停電・断水に備え、食料・水等を備蓄する。

強風が吹いている間は注意を怠らない

- ・ 飛散物や転倒による負傷を避けるため、不要不急の外出は控える。
- ・ 窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

(2) 県民への注意喚起等(その3)

3 災害情報に基づく早めの避難行動

避難開始の合図となる情報を「避難スイッチ」としてください。(気象警報、避難情報、キキクルの危険状況等)

警戒レベルと避難行動

警報や避難情報を確認し、いつ避難するかあらかじめ確認しておいてください。

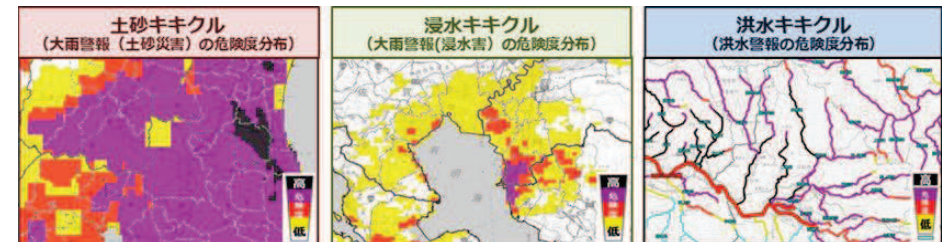
- ・「警戒レベル3」、高齢者等避難に時間を要する者が避難開始
- ・「警戒レベル4」、全員危険な場所から避難
- ・「警戒レベル5」、高台への移動、近傍の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警戒等	気象庁等の情報 キキクル (危険度分布)	指定河川 洪水警報
5	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	災害切迫	氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難!>					
4	危険な場所から 全員避難 ・台風などにより避難が予想される場合は、暴風が吹始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害 警戒情報	危険	氾濫危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じて、最初の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報※ 洪水警報	警戒	氾濫警戒情報
2	自らの 避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報

「キキクル」で危険を確認

「キキクル」とは <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。



近くの川や自宅が「紫」なら避難を

避難判断にあたっての注意

- ・ 中小河川は水位が一気に上昇する。
- ・ 土砂災害の前兆現象に注意。(裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など)
- ・ 外に出るのが危険な時は、屋内の少しでも安全なところへ避難。(2階、斜面から離れた部屋など)
- ・ 雨が止んだ後や弱い雨のときでも災害発生の危険。(令和3年熱海市の土石流など)

(2) 県民への注意喚起等(その4)

4 避難等にあたっての注意事項

周囲の状況を確認し、安全を確保して避難してください。

避難時の注意

周辺が浸水した状態では、足元が見えず、ふたの外れたマンホールや側溝に落ちるおそれがあり、外を移動するのは大変危険です。

あらかじめ周辺の危険性を確認し、避難所への避難経路の安全性を確保してください。

冠水した道路を移動するときは、長靴をはかずに歩きやすい服装で、棒状のもので足下を確認しながら、できるだけ2人以上で行動してください。

内水氾濫に注意

急激な大雨で、水路等から道路などへ水があふれ冠水する「内水氾濫」が発生することがあります。

河川の状況を確認して内水氾濫と判断される場合、無理に屋外へ移動せず、屋内のなるべく高い場所等へ垂直避難してください。

浸水深が浅いときは、土のう等の設置により、家屋への浸水を防ぎ、風呂・洗濯機・トイレ等の排水口を水のうで栓するなど逆流を防いでください。

停電への備え

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯電話の充電器などを準備してください。

冠水箇所へ自動車で進入しないでください

エンジンが停止し立ち往生する危険性があります。

自動車での冠水箇所への進入や、道路や鉄道などの下を通る「アンダーパス」など周囲より低い場所の自動車通行を避けてください。

万が一、車内にまで浸水してしまった場合は、速やかにエンジンを停止し、車外へ避難してください。

大雨の際にはできるだけ運転を控えてください。

▶ 冠水危険箇所（鳥取県WEBサイト）

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/312616.htm>



食料・水等の備蓄

浸水の長期化で外出が困難になったときに備え、食料・水・生活必需品等を備蓄してください。

（最低3日分、推奨7日分）

【備蓄の例】

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、
ビスケット、板チョコ、乾パンなど

その他 トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく、カセットコンロ など

3 警戒・即応体制の確保等 県の体制

●県の体制区分（大雨・台風関連）

- ・ **注意体制** 気象注意報（大雨・洪水・高潮等）、水防警報（待機・準備）
- ・ **警戒体制（１）** 気象警報（大雨・洪水・高潮・大雪・暴風等（陸上での最大風速が25m/s以上となることが予想される時））
水防警報（出動、指示）、河川洪水注意報・警報 等
- ・ **警戒体制（２）** 記録的短時間大雨情報、土砂災害警戒情報
台風の暴風域が鳥取県を通過、河川洪水警報
顕著な大雨に関する情報 等
→鳥取県災害警戒本部を設置
- ・ **非常体制** 特別警報、県下全域にわたる風水害 等
→鳥取県災害対策本部を設置

⇒被害状況等に応じ、早めに災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

各部局、各市町村におかれては、連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします。

- ◆ 警戒体制(2)以上の時などに県から市町村にリエゾンを派遣。
- ◆ 市町村の災害対応力を超えると予想される場合に、被災市町村へ支援チームを派遣。
- ◆ 関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設。